



「波照間島」でのアンケート調査終了！

波照間島調査の3日目の14日は、昨日までの記入会に来れなかった人の訪問と富嘉（ふか）部落の記入会でした。夕方と夜の2回、富嘉部落会館で記入会を実施しました。事前にビラまきをしたこともあってたくさんの方においでいただきました。40代のご夫婦からは、「土地が少なく長男以外は島の外に出ていくしかない、人口が減っている。自分たちが年配になる頃は半減しているのでは」という不安の声も聞かれました。また、「空き家対策をして、移住しやすい環境を整えるべき」というご意見もありました。

来られなかった人には15日午前には訪問してアンケート記入をお願いし、午後のフェリーで波照間島を後にしました。

今回波照間島では、89枚のアンケートを回収し、預けを含めて122枚でした。



富嘉部落会館の記入会の様子



訪問し直接聞き取りをする事も。



波照間島には「オヤケアカハチ」の生誕記念碑があります。

「オヤケアカハチ」は、八重山地域の歴史的な豪傑で、琉球王府の重税に反対して立ち上がったことで英雄として尊敬されています。大男で眼光鋭く、赤い髪の毛だったと伝えられています。

←「オヤケアカハチ」の生誕記念碑。

ばいぬ島共生意識・要求アンケート調査に参加して・・・

不安な気持ちもある中、ワクワクした気持ちでアンケート記入会に参加ができました。不足している社会資源を一人ひとり島の人に聞き取る事の大変さ、楽しさを肌で感じる事ができました。高齢者、一人暮らし、若い世代などそれぞれの思いは当然さまざま、今回調査した波照間島に必要なサービス・社会資源も、画一的なサービスでは島の人たちの満足は得られないのだろうと感じました。

今回のボランティア活動では、本当に貴重な体験が出来ました。一緒に参加された竹富町職員の方々にも感謝です。ありがとうございました。



11月12～15日までボランティア参加の宮崎浩二さん

(けいはん医療生協ケアマネージャー)